

2020（令和2）年10月23日

国土交通大臣 赤羽 一嘉 殿

○ リニアから住環境を守る田園調布住民の会

代表 三木 一彦

○ 洗足池をリニアから守る会

酒井 道篤

○ リニア・市民ネットワーク東京

奈須 利江

私たちは、リニア中央新幹線の大深度地下使用の認可に対し、その安全性の確保に疑義を持ち説明を求めたり、審査請求等により、事業者及び国土交通省の所管部署に対して働きかけを行って参りました。

10月18日、調布市東つつじが丘2丁目の住宅地において、道路と宅地の一部が陥没したという報道等がありました。報道から、直下の地下で外環道のトンネル掘削工事が行われていたこと、それを受けて、事業者であるNEXCO東日本は外環道の工事の中断を公表し、調査に入っていることを知りました。

リニア中央新幹線においては、大深度地下使用の認可が下りて、北品川非常口には、シールドマシンが入ったと聞いています。

この大深度地下使用認可処分の審査請求に係り、9月8日に提出した反論書のなかで「今まで道路で起きていた陥没、地盤沈下・隆起といった地盤変動が住宅街で起きることになり、そこに住む人々は生命、身体の危機に直面することになり」と指摘したことが早くも現実のこととなり、人格権の侵害による脅威が明白になりました。

今回の、外環道の地下トンネル工事はシールドマシン工法で、リニア中央新幹線の工法と同じであり、私たちリニア中央新幹線経路直上・周辺住民及び関係者は、今回の事故の報道に大変に大きな衝撃を受けています。

特に、外環道においても、トンネル直上の地質調査は行っていないと報じられており、リニア中央新幹線で指摘してきた安全確認の不十分なところも同じで、同様の事故がリニア中央新幹線の地下トンネル工事において起きるのではないかと、懸念するものです。

そこで、リニア中央新幹線経路直上・周辺住民および関係者は、安全確保のために、以下のことを要望しますので、11月6日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

### 要望事項

1. 国は、リニア中央新幹線全線の地下トンネル工事において、外環道での事故原因が解明されるまで、ただちに工事の中止を JR 東海に指示し、リニア中央新幹線全線における地下建設工事の安全性の確認を行うこと。
2. また、上記について、JR 東海の安全確認作業を監督・指導すること。
3. 原因究明と安全確認が行われたら、住民説明会を開催すること。
4. 人格権の侵害であることから、住民の合意が得られるまでは、工事の再開をしないこと。

以 上